



ねもと たざ えもん
根本 太左衛門 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

みずたに会との協定はどうなっているのか

Q みずたに会との協定の解約は、いつ頃終わるのか。また、解約した後の診療所はどう考えているのか市長の考えは。

A 今年度中の協定解約手続きに向けて進んでいるところですが、みずたに会と調整が必要のため、現時点ではお伝えできません。また、協定解約後については、厚生労働省が検討している分娩費用を公的保

険で負担する仕組みの方向性を注視しながら、いろいろな角度で考えていきます。

Q マリンスタジアムのボックスシートは今年も同じなのか。空きシートを法人以外に転売しても公職選挙法に抵触しないのか。

A マリンスタジアムのボックスシートについては、市の公費によるものではなく、私が代表を務める法人が購入しているものです。本年のボックスシートの購入は、法人の支出は法人の経営判断に関する事項であることから、香取市としてお答えする立場にはありません。なお、市政運営と法人経営は明確に区分しており、相互に開与するものではなく、公職選挙法に抵触するものには当たらないと認識しています。今後とも、公私の区分を十分留意し、市政運営に支障を来すことのないよう適切に対応してまいります。

Q 知事の講演会と大学の発表会の後片付け、首長としてどちらが重要なのか。

A どちらも重要であると認識しておりますが、知事とは口頃から連絡を取り合っており、その後、私からお願いで講演会も

実施していただいていることから、対応に特段の支障はなかったものと考えております。
一方で、大学の発表会等の参加については、以前から出席の返事をしていただき、総合的に判断し、そのように予定を決めたところです。

香取市の防災計画は

Q 有事の際の関係機関の対応と応援関係会社との締結は。また、協力会社は何社あるのか。

A 香取市では、平成29年3月に一般社団法人千葉県建設業協会香取支部と地震、風水害、その他の災害、応急対策に関する業務協定を締結しています。当該協定は、災害時の公共土木施設の被害状況の把握と、香取市への報告、また応急措置や復旧工事を速やかに実施するための定めがあるほか、事業者が保有する発電機などの資機材の提供について定めております。協力会社の数は、建設業協会の令和7年5月の会員名簿では、24の事業者が会員となっております。



たしろ かずお
田代 一男 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

HPVワクチン接種率向上に向けた取り組みを

Q 通常HPVワクチンは3回接種するが、9価ワクチンの接種を15歳未満までに1回目を接種すれば2回接種で完了できる。中学校2年生に対して「15歳未満で1回接種すれば2回で完了すること」ができれば「旨の個別通知を发出すること」を要望するが、見解は。

A 現在、香取市で実施している小学校6年・中学校3年・高校1年への個別通知では、2価・4価ワクチンと併せて9価ワクチ

ンの情報を发出しておりますが、令和8年度からは定期接種ワクチンが9価のみとなるため、従来の年齢に対する個別通知も9価ワクチンの内容となります。こうした状況を踏まえ「中学校2年への個別通知」は、接種率向上に資するより効果的な情報提供であると捉え、実施に向けて検討してまいります。

Q 男性がHPVワクチンを接種することで、パートナーへの感染予防につながるが、自費負担が重いため、市独自の助成制度の創設を要望するが、見解は。

A 国における定期接種化に向けた議論では、「ワクチン接種の費用対効果を評価するには、信頼性の高い国内データを引き続き収集する必要がある」とされていることから、香取市独自の助成制度に関しては、今後の国の動向や、先行自治体の実施状況、および日本国内におけるエビデンスの蓄積を注視しながら、慎重に調査・研究してまいります。

身寄りのない高齢者の支援を

Q 船橋市では「身寄りのない高齢者」を対象とした相談窓口の設置と「支援プラン」の作成を行う「身寄りのない高齢者サポート事業」を始めた。香取市でも同様の事業を展開してほしいが、見解は。

小野川の水質改善を

Q 小野川は佐原地区観光の要所である。市民から「小野川の水が濁っていて観光客に申し訳ないね」という声が届いているが、水が濁っている原因は何か。そのことに対する対策は講じているのか。

A 香取市としても、高齢者の総合相談支援に取り組む地域包括支援センターや、市民の自立生活支援や困りごと悩みごとの相談支援に取り組む社会福祉協議会などと連携し、今後の事業展開に向け先進事例を調査研究し、香取市の実情に合わせた政策の構築に取り組んでまいります。
A 河川等における水質や透明度については、自然環境によるもの、人為的影響によるものなど様々な原因があると捉えています。原因の詳細を分析するまでには至っていませんが、人為的影響を抑制することが対応策の一つであると考えています。人為的影響を抑制する対策としては、公共用水域の水質調査を実施するほか、河川等の環境保全のための啓発を推進しています。また、香取市汚水適正処理構想において、市全域を対象に、地域ごと（公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽など）最適な汚水処理方法を定め、これに基づき、効率的・効果的な汚水処理施設の整備を進めています。